

## 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

- 1 事業所名 共同生活援助こもればいホーム
- 2 開催年月日及び時刻 令和 8年 3月 5日（木） 15時00分～17時30分
- 3 出席者

利用者	1名
利用者家族	1名
地域の関係者	1名
福祉に知見のある人	1名
事業所職員	3名
- 4 欠席者 なし
- 5 議題内容
  1. 構成員によるグループホーム訪問  
こもればいホーム3、こもればいホーム4、こもればいホーム5、こもればいホーム6  
こもればいホーム MAHALO の訪問を実施。
  2. 構成員の紹介
  3. 地域連携推進会議の目的  
厚生労働省の資料をもとに、地域連携推進会議の目的・会議の内容・施設訪問・構成員の役割を説明。
  4. 共同生活援助こもればいホームについて
    - 現状報告  
定員数・障害程度区分ごとの利用者数・年齢別男女比率について資料を用いて報告。
    - 運営状況  
利用者の日常の取り組みについて報告・紹介。  
食事の提供については、栄養士が栄養計算やカロリー数を考えながら毎月の献立をたて、それに基づいた手作りの食事を提供中。  
また、国産の食材を使用するように心掛け、野菜や肉類等を業者に依頼せず直接買いに行き、食材費を抑える取り組みをしていることを報告。  
抑えた食材費で、毎日の食事では衛生面上、生物である刺身などが提供できない為、毎週外食に行き新鮮な刺身や海鮮丼を食べに行っている事、外食が利用者の方に人気であることも説明。  
休日の昼食ではホットプレートを使用してたこ焼き・焼きそば等を提供。  
入浴に関しては、清潔の保持・感染症予防のため毎日入浴支援を実施していること、機械

浴が必要な方には機械浴を行っていることを報告。

その他洗濯・掃除についての取り組みも報告・紹介を行った。

○サービス向上に向けた取組について

・消防訓練

毎月避難訓練を実施。

消火器を用いた火災訓練・風水害訓練・地震避難訓練も年に1回ずつ実施

・BCP

災害用備蓄庫の確認と避難場所の確認。

・介護ロボットや機械浴の導入

導入を行い、利用者・職員の介護負担軽減を目指している事を報告。

また移乗用ロボットや見守りカメラを導入している事、今後も体位変換マットレスや呼吸数・脈拍が分かる機器の導入を検討していることも報告。

・感染症・救命救急対策

定期的な研修の実施、また予防接種の実施（利用者・職員）。

また、定期的にひびきの消防署による救命救急研修の実施。高齢の利用者が年々増加傾向にあり、突然の体調不良などに対応できるようAEDの使用方法や心肺蘇生法（胸骨圧迫）について実践研修を実施している。

・虐待防止等についての取り組み

委員会の設置・会議を行い、3か月に1度の研修を実施。

各ホームの共用部分（玄関・リビング・廊下）に防犯カメラを設置し、虐待防止・安全対策を強化に努めていることを報告。

・夜間体制について

夜間も常時職員が常駐しており、深夜の見回りなども実施。

こもればホーム MAHALO では離床等をセンサーが感知すると音声で通知される見守りカメラを設置しており、夜間の事故防止対策を強化していることも報告。

## 5. 地域とのかかわりについて

現状での地域行事への参加・地域住民との関りについて報告。またそれを踏まえての課題等について報告、情報共有。

## 6 構成員からの質問・意見・感想

### 利用者からの感想

毎日、洗濯物干しとか掃除を頑張っています。ご飯もおいしくて、ホームで過ごすのはすごく楽しいです。休みの日はテレビを見たりゲームをしています。外食も行けてうれしいです。

【構成員の方からの質問】

質問①

最重度の方が多ければ、人員配置の基準も上がり人員の確保が大変と思うがどのように補っているんですか？

《事業所からの回答》

人員の確保は常に四苦八苦している。常に求人を行い人員不足にならないように努めている。

質問②

物価高騰により食材費や光熱水費が上昇している。食材費について努力されているのは聞いたが、光熱水費は大体月に 15,000 円～17,000 円程かかると思うがどのようにされているのか？

《事業所からの回答》

利用者の方により違い、障害年金 1 級の方や特障手当を受給されている方は何とかできている。しかし、障害年金 2 級の方は保護者からの仕送りや生活保護を受給されている方がいます。

生活保護を受給されている方に関しては、各区役所の保護課と密に連携して実際に生活している環境や金銭状況を見に来ていただいている。また、早めに各区役所の保護課へ現在の残高状況の報告も法人側から行うようにしている。

また、就労継続支援 B 型事業所を利用されている方は、高い基準の工賃支給ができていたため、ご自身の工賃から支払いができていた方がいます。その為、元々生活保護を受給されていた方も保護廃止を行い、尚且つ貯金ができている方も増えています。

【構成員の方からのご意見】

福祉に知見のある方

- ・区分 6 が 38 名で最重度の利用者が多く、すごく大変だと思うがこれだけ手厚い支援ができていたことはすごいことだと思う。
- ・食材費や光熱水費などの削減に努めていることは素晴らしいし、毎週の外出などなかなかできることではないので利用者の方も喜ばれると思う。
- ・生活保護を受給されている方も、各区役所と連携しており、残高など現状報告を事業所側から連絡していいのだと初めて知った。

利用者家族からのご意見

- ・各グループホームを訪問して、臭いがしない事・部屋がきれいで風呂もカビが生えてなくて綺麗だったこと、細かい心遣いが見えてうれしく思った。
- ・コロナの流行から外出などの活動が減ったが、現在もイベント（カラオケ・外食）を行っていることも知っているし、また帰省時バスハイクに行けてうれしそうだった。外出など連れて行くのがすごく大変なことだと分かっているが、そういった活動を無理なく継続していただければなと思っている。
- ・これだけしていることを他の人たちに知っていただける機会があればと思った。

地域の関係者の方からのご意見

- ・ 地域行事であった時にいつも明るく元気な挨拶をしてもらえてうれしく思う。
- ・ 各グループホームも掃除が行き届いていて、いつ見てもきれいだと思った。

(事業所より)

今回の地域連携推進会議に参加された、構成員の方からいただいた貴重なご意見は、事業所内で協議させていただき、その意見の中から次回の会議で審議・ご提案をさせていただきたいと思います。